鳥海山の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１、図２）

上郷２監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図３）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図４、図６）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

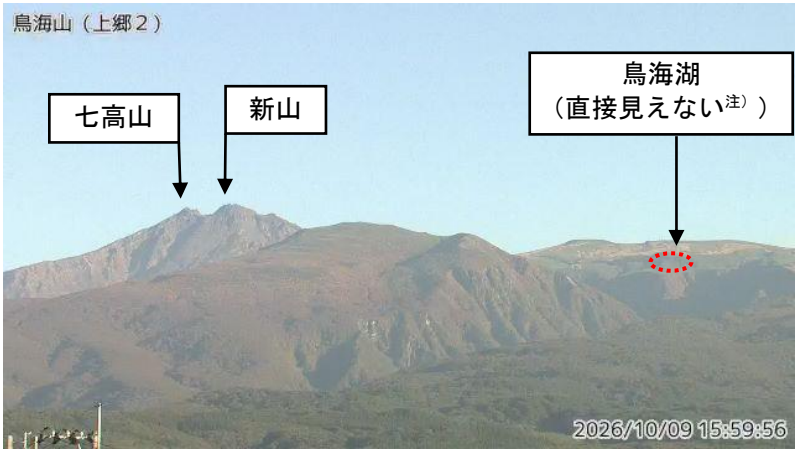


図１　鳥海山　山頂周辺の状況（10 月９日）
・上郷２監視カメラ（山頂の北西約 13km）の画像です。
注）鳥海湖から噴気が噴出した場合、高さ 200m以上のときに上郷２監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥海湖の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

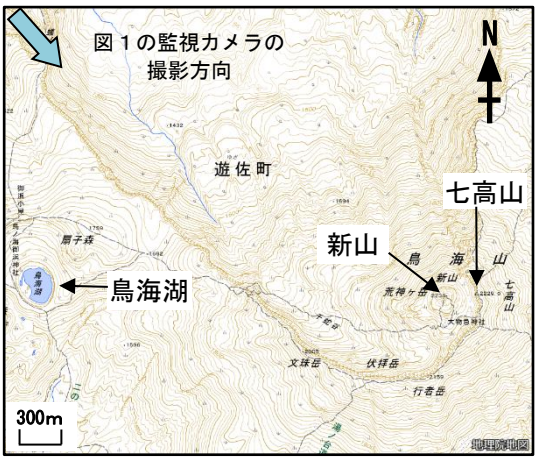


図２　鳥海山　新山、七高山、鳥海湖位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年11月分）は令和８年12月８日に発表する予定です。
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50ｍメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

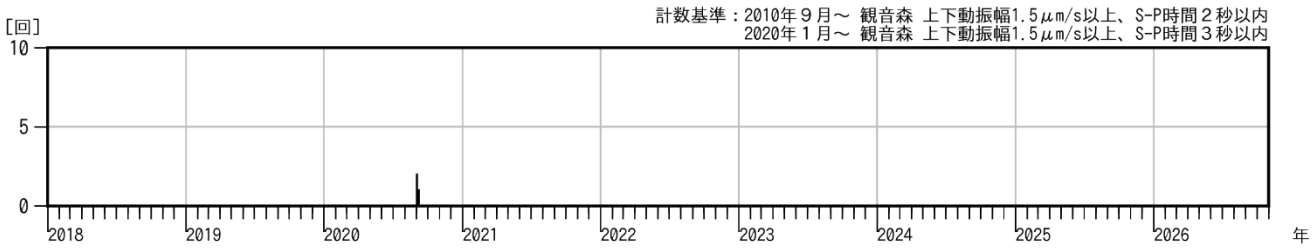


図３　鳥海山　火山性地震の日別回数（2018 年１月～2026 年 10 月）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

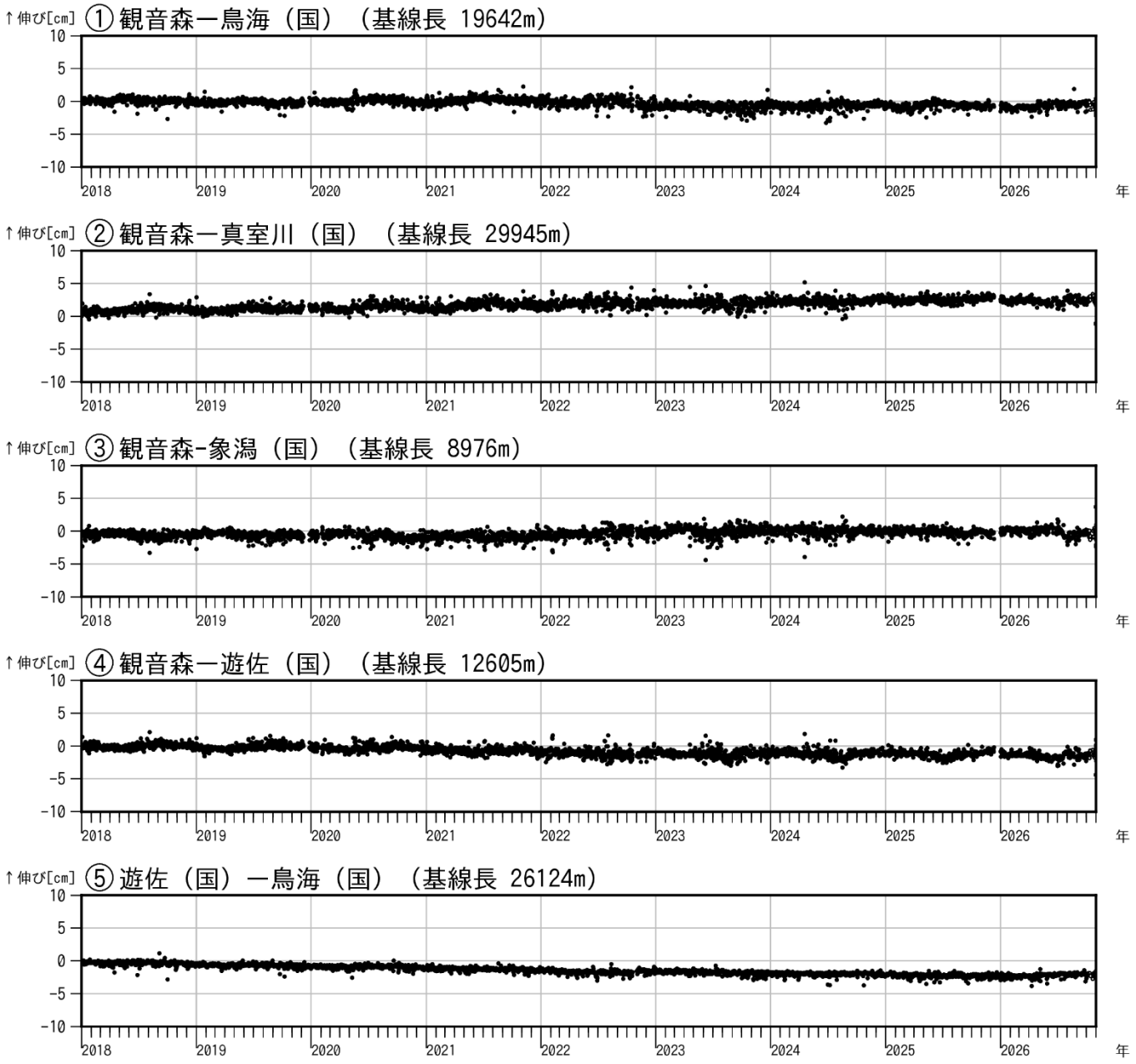


図４　鳥海山　GNSS 基線長変化図（2018 年１月～2026 年 10 月）

・①～⑤は図６の GNSS 基線①～⑤に対応しています。・空白部分は欠測を表しています。
・（国）は国土地理院の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

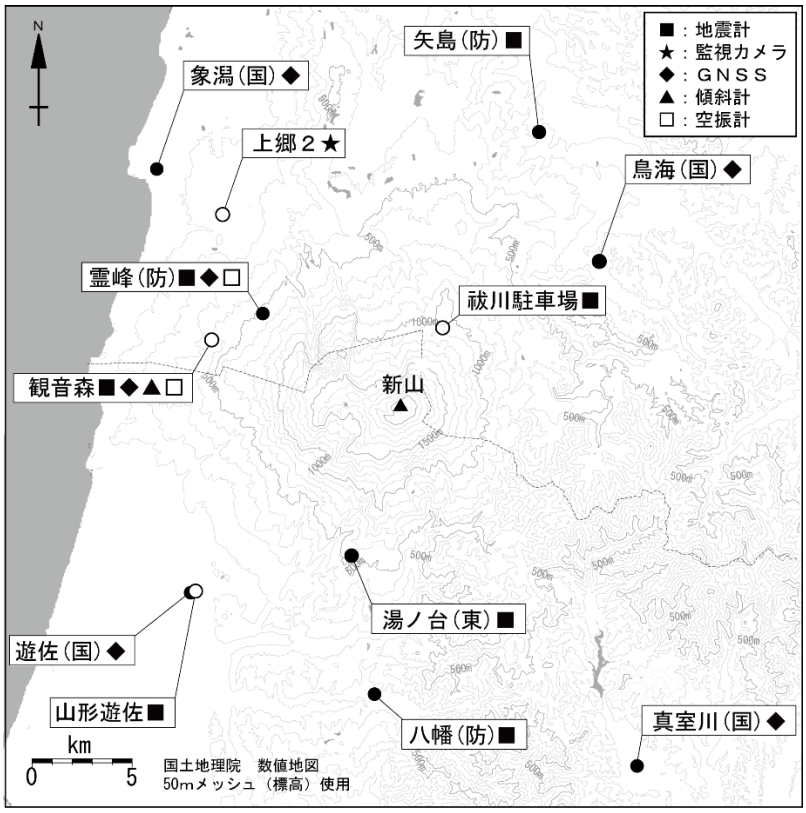


図５　鳥海山　観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院　（東）：東北大学　（防）：防災科学技術研究所

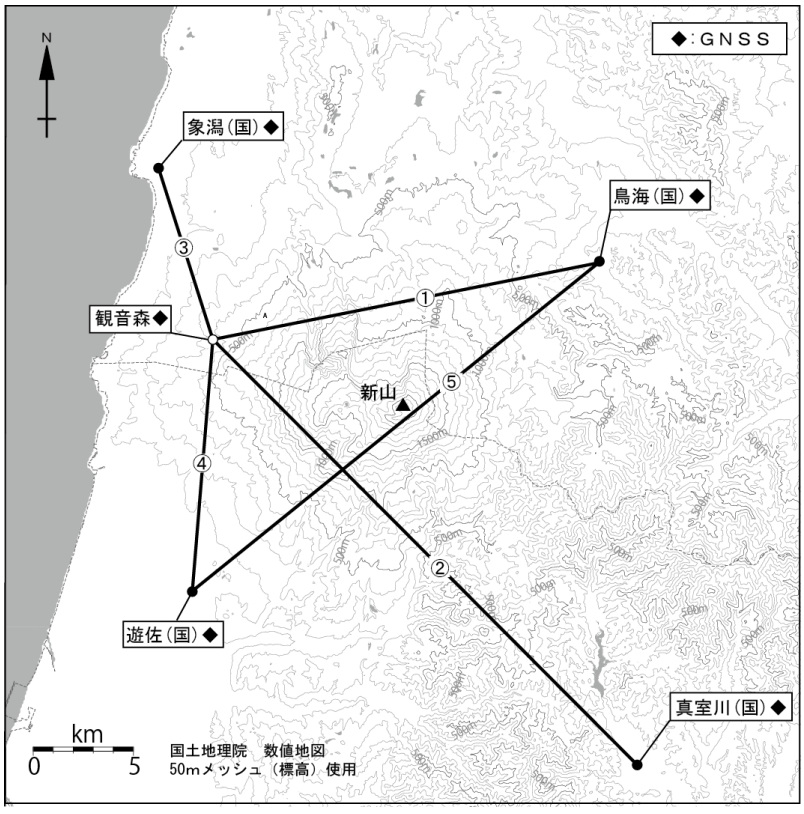


図６　鳥海山　GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院